

## 第1回吉野川市中小企業者等振興対策協議会会議録要旨

- 1 招集年月日 令和元年5月27日(月)  
午後2時から午後3時35分(1時間35分)
- 2 招集の場所 吉野川市役所 東館2階 事務協議室21
- 3 出席委員 6人
- 4 出席職員 事務局4人
- 5 傍聴人 1人(日本フネン株式会社)
- 6 会議日程
  - 1) 開会
  - 2) 産業経済部長挨拶
  - 3) 委嘱状交付
  - 4) 自己紹介
  - 5) 趣旨説明
  - 6) 会長・会長代理選出
  - 7) 会長挨拶
  - 8) 協議事項
    - ① 吉野川市中小企業者等振興対策協議会について
    - ② 吉野川市商工振興プレゼン大会(仮称)について
  - 9) 閉会

### 7 会議の経過

#### 【日程5 趣旨説明】

事務局 (協議会の趣旨について説明)

#### 【日程6 会長・会長代理選出】

(会長に矢部拓也委員を、会長代理に新居卓哉委員を選出)

#### 【日程7 会長挨拶】

会長 (就任挨拶)

#### 【日程8 協議事項】

- ◆ 協議事項 (1) 吉野川市中小企業者等振興対策協議会について  
(2) 吉野川市商工プレゼン大会(仮称)について

会長 (1) 吉野川市中小企業者等振興対策協議会について、(2) 吉野川市商工振興プレゼン大会(仮称)について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (事前配布資料の説明)

会長 ただ今の説明についてご質問をお願いします。

委員  
事務局 誰に向けて行うプレゼンなのかイメージがしにくいです。企業さん方の声を聞くことで支援ができることもあるかと思います。

委員 プレゼン大会に出たら、お金でなくても何か賞はあるのでしょうか。

事務局 プレゼン内容と合う補助金があればマッチングをさせていただきますが、ここにいらっしゃる委員様方がプレゼンの内容に関わってくださることが一番ありがたいです。

会長  
委員 公開質問会のような場が現在ありませんので。マッチングという意味では非常に良いと思います。多くの方に聞いてもらい、良い考えがあれば一緒にやってみようという場としてはイメージが湧きます。我々は1番を決めなければならないのですよね。

事務局 1番を決めると言うことではなく、同じ志を持った方々が集まればまた違う新しいものができると思います。また、立ち上げが行政主導ですので、将来的には民間事業者の方々に動いていただくということがありがたいです。

委員 私のイメージは、やりたいことはあるが、人脈もお金も情報もない方がプレゼンをして、協力者が集まり別部会をつくって話を進めるというものでした。プレゼンター募集のチラシに掲載されている、こんなことを考えている方募集の内容ではどのように発展させるのかなと思いました。

事務局 この表記については、検討をさせていただきます。

委員 募集をする際に、懸賞金のようなものがないと興味が湧かないと思います。お金でなくても、何かしらの支援についての記載がないので、一般の方は応募をしにくいと思います。川崎市(先進地)は金融機関等様々な提携先を紹介してくれます。発表後、次のステップに進めるものがあれば良いと思います。

委員 最終的に吉野川市の商工振興に繋がる必要があるということは、例えば駅前でかき氷屋をしたいが、1人では難しい、資金必要だから助けて欲しいということでも大丈夫なのでしょうか。プランを出して、金融機関さんから融資をもらう場合、どこに対して融資をし、プランの責任は誰がもつのかも気になります。

委員 (行政主催であれば)地域全体を巻き込むものでないのだめということですよ。

委員 県内で実施している他のビジネスプランコンテストは応募者のプランを関係機関がブラッシュアップし、発表者が主体となり最後まで進めていきます。このプレゼン大会の要項ではプレゼ

- ンターに主体性がないあたりがわかりにくいです。
- 会長 本来は、オープンに聞くのではなく、関係団体が知る困っている方々を協議会に呼び、問題を聞き、規制緩和等の解決をしていくものだと思います。吉野川市の若手職員は毎年研修で政策提案をしているということで、それはオープンにしていく方が良いと思います。やり方として、先に決め打ちで誰かにお願いし、テーマを何本か立てた上で、他にも募集しますというのがいいのかなと思います。この会がやるべきは、抱える問題に対して、他のプランを聞く中で自分のビジネスでもプラスにできるような学ぶ場としてのコミュニティをつくることです。去年のイメージでは、クローズな会で我々も含め問題を抱える方々の意見を共有し、ソーシャルな部分を入れていろんなループができる会になるための話し合いの場です。市のエディブルフラワーが成功事例で、職員が考えた良いプランがあり、それを独占せず、色んな方が何か出来ないかとそこに入っていくことです。決め打ちは必要かと思うので、新居さんたちは何か出せるものはあるのでしょうか。
- 委員 出せるかと思います。
- 委員 完全一般公開ではなく、決め打ちで4つ程声掛けをし、プレゼン大会を発信の場とするのも良いのかなと思いました。協議会の中でのプレゼンという形です。
- 委員 一民間企業が出すのは難しいですよ。良いプランでも、マーケットのことを考えてしまいます。鴨島駅前で出店すれば阿波銀行さんが1000万円担保無しで貸してくれるというなら話は変わってきますが。
- 委員 去年J Cが駅前でしたのはどのようなものだったのでしょうか。
- 委員 地域活性化イベントです。いろんな団体を巻き込み注目を集めました。ここで何かやろうという芽が出てくることを狙ってやっています。実際に出店された方で、補助があればという声もありましたが、町の雰囲気を見て、出店してみたいという方はいました。今年は10月に開催予定です。
- 会長 私は共催形式が良いと思います。J Cが受け入れてくれるかはわかりませんが、今はこの協議会の名前も認知されていませんし、皆さんもどう誘って良いかわからないので、イメージを持ってもらうためにプレをした方が良いと思います。
- 委員 青年会議所で話をしなければならぬのですが、周知の意味を込めて10月にプレプレゼン大会をしても良いと思います。
- 委員 市で地方創生推進協議会を開催していると思うのですが、そこ

ではエディブルフラワーの件を把握しておらず、こちらとの違いもわかりません。ですので、そのような会を繋げ、情報が集まる場という風にできたら非常に良いと思いました。

事務局

目的が違いまして、地方創生推進協議会は相対的に市全体の中で地方創生という観点からそれぞれの所属が、提案の中で目標を設定していくものです。この協議会は市内の大半を占める中小企業者等をいかに振興するかが主目標です。地方創生の一部ですが。

委員

地方創生の話し合う内容は広いですが、結局は中小企業が活性化しなければ推進協議会も前に進まないと思います。繋がっていけばわかりやすいです。

事務局

プレゼン大会の趣旨は行政も情報を発信していますが、周知も難しいところがあります。また、行政がやることにはハードルがあるため、このプレゼンの中でお互いに意見交換をして、気がつかなかったこと等をどんどん出していける景気にしたいというイメージです。ただ、方向性やプレゼン内容についてもう少し明確にし、幅を広げ過ぎるとぼやけてしまうので、ピンポイントにした方が良いのかなと思います。

会長

この日程でやらないといけないのでしょうか。行政職員が全体の構想を考えて、それを踏まえ民間企業が投資をし、お金を回すということが、今後の行政職員がやるべき仕事だと思います。基本的に補助金をつけると、お金は儲かりません。企業が銀行からお金を借りて投資をするように、健全な数をどれだけ増やし回すのかを考えなければなりません。中小企業者等振興基本条例の趣旨は、民間事業者がお金を借りて投資をし、地域内循環等を含めた吉野川市の財政がプラスになる流れのアイデアにすれば、中小企業者も惹きつけられ、全員がハッピーになれるのではというものです。中小企業者等振興基本条例に力を入れる所では、何かを始めたいが自信のない時に、事前に相談する場をつくり、若手に事業を回すそうです。動かす対象の人は決まっているようです。そこが動く流れが回り始めます。この協議会も気軽に相談ができる場ということが、プレゼン大会を開催する意図だと思います。しかし、このチラシでは伝わりづらいですね。また、プレゼン大会にインセンティブを付けなければならぬのであれば、この協議会がもつ権限と連動させ、補助金の見直しが可能であれば、その領域に対して募集をすることもできますね。補助金の見直しをオフィシャルにし、この領域について意見を言って変えるというように、リアルなもの

にして、関連する事業者を対象にその部分のお金が回るように判断をするのか、もしくは、1回目は広く募集をして再来年頃には理想とするものを探すのか、判断をしなければならないと思います。個人的には早く結果がでた方がいいので、発表をしたい人がいるところに絞るのがいいと思います。事務局は可能性のある人を選定し口説き落とし、皆さんも1人ずつぐらい推薦したい人を選んで第1回目をやってみるのかなと思います。具体的にどのような提案が出てきてもらいたいのですか。

委員  
事務局 具体的にというのは難しいのですが、こうしたいという声に対してできるだけ支援をしたいと思っていますし、出てきた事業者さんが手を組める仕組みができたらと考えています。

委員 募集要項の間口が広すぎますよね。学生の方だと掴みにくいかなと思います。

委員 例えば、吉野川市の商工業振興に繋がる「1. 商店街の賑わい」、「2. 移住、交流の促進」、「3. 市外への情報発信」、「4. 地域資源の活用」というように具体的なテーマを並べ、その中で問題や課題の提起をしてもらいたいかなと思います。

会長 少なくとも5, 6人いれば様にはなると思います。また、1年後3年後のゴールを考える必要もあります。なぜ今、吉野川市が衰退しているのかというと、事業者がビジネスを考えた時に、吉野川市は投資の対象にならないというイメージが問題です。その問題を明確にし、そこを変えなければならないと思います。プレゼンでの募集の際に、我々を変えたい所を記載し、そこに賛同をする人がプレゼンをしてくれるとプレゼンターのリスクが減りますよね。重要なことは、テーマが似た人たちに会に来てもらい話を聞き、次年度にはそのテーマに掲げたことをやることで結びつきは強くなり、関心がある人を集めると、吉野川市はビジネスを支援している、ビジネスをするのであれば吉野川市に行けば良いのかということに繋がるので、循環をつくる下準備はしなければなりません、それをオープンエントリーですと成功したためしがありません。

事務局 意見をいただきまして、今年は公募という形ではなく、協議会の中で意見を言う場として発表をしてもらい、よろしければ、JCさんの10月のイベントに絡ませていただけたらと思います。

会長 理想は、JCのイベント時は周知の会にして来年に繋げていけたらと思います。気楽に意見を出せる環境になり、議論してマッチングができることは、良いと思います。しかし、スタート

からこの理想は難しいと思いますし、私たちも経験が無いので。これは来年開催のイメージで、逆算して今年はどのような準備をしておけばいいのかを考え、広報期間にしてもいいのではないのでしょうか。地元の若手や新しい方が事業発表や構想を出す場が毎年あると、楽しいと思います。

事務局 間口の広い応募は来年に向けてということで、今年は内々でさせていたいただきたいと思います。

委員 この件について具体的に声掛けをしてもよろしいのでしょうか。  
事務局 今日の意見をまとめましてもう一度検討をさせていただきます。

委員 10月のJCのイベント内の1つということですね。

事務局 再度練り直し、再掲示をさせていただきます。

委員 この協議会はどれぐらいのペースでするのでしょうか。月に1回は難しいですか。

事務局 年に2～3回を予定しています。

会長 本当はワーキングを動かさなければならないです。親会とワーキング部会です。

事務局 それが理想ではあります。

委員 この親会に報告できるようなワーキング部会をつくれたらいいなと思います。

事務局 (事務連絡)

【日程9 閉会】

会長 (閉会の挨拶)